

2014年11月

最新のカントリーリスク

特集カントリーリスク



シンガポール

# リストラにより支出と景況感が不安定に

**産**業再編の取り組みの影響が、この国の経済に徐々に表れ始めている。シンガポールが低付加価値製品から高付加価値製品へとバランスを変更したことにより、製造セクターの雇用は引き続き減少している。

家具や家庭機器セクターで前年比大幅減となったことを受け、7月の販売数（自動車を除く）は17か月間で最低を記録した。現在、民間消費総額はGDP全体の約35%を占めている。継続的な構造改革で輸出総額と実質GDPが減少し、コンピュータ部品等の電子部品の輸出も低調のまま。しかしながら、電子製品以外の輸出は急増し、低付加価値電子機器の輸出減少を相殺する形となっている。歴史的なシンガポールドル高は、まだ輸出の足かせにはなっていない。

再編が進み労働市場構成が調整される中、消費者支出と消費者の期待は安定しない状態が続くものとみられる。製造部門の雇用者数減少が消費者感情全体に影響を及ぼした可能性も否定できないが、雇用数の減少は、経済の再バランス化と信頼回復の過程における一時的なものと考えられる。第2四半期にサービス業と建設業で堅調な雇用を記録したことから、他の業界での労働者吸収が順調に進んだ。第2四半期の失業率が2.0%と過去最低レベルに迫ったことから明らかな通り、労働市場には依然として柔軟性がある。

8月の季節調整済み消費者物価は前年比1.0%増と、低レベルで推移している。金融管理庁は、2014年中は消費者物価は抑え気味で1.5~2.0%の年間範囲内で推移するものと見込んでいる。一方、過熱した不動産市場を落ち着かせるためのマクロ・プルデンシャル措置が効果を発揮し、住宅価格上昇は減速した。

## ASEANカントリーリスク・トップニュース

「カントリーリスク・トップニュース」は、外国との取引に関連する潜在的ビジネスリスクに注意を向けていただくための記事です。下記のトップニュースは、リスク環境に影響を及ぼした最近の変化に焦点をあてたものです。

- カンボジア - 労働不安の可能性はあるものの、短期見通しは依然として好調。
- インドネシア - 大統領の当選が裁判所で確定したことから、政情は安定。
- マレーシア - 消費者の間に楽観的心理が高まり、今後数四半期にかけてポジティブな見通し。
- ミャンマー - 通信、IT、飲食料品、観光セクターが急成長。
- フィリピン - 民間消費と輸出が後押しし、広範囲で成長。
- タイ - 統制下の新民主主義体制により、ビジネス継続性が確保される見込み。



# アジアとの統合がヨーロッパの 繁栄に不可欠

**第10回** アジア欧州会合、ミラノ - アジアの全企業を代表して行った基調演説で、入閣歴6回の閣僚でありタイ有数の事業家であるプラディット・パタラプラシット氏は、アジア統合の進展から生じるチャンスをヨーロッパの民間セクターがつかむ必要性を指摘した。チャンスを逸すれば、「自由貿易協定による経済協力促進と地域間の貿易障壁削減を受け、アジアのビジネスはEUから大きく離れることになる」と考えられる。

アジア全諸国の貿易相手トップ3で米国がEUに取って代わったことも指摘に上がった。さらにパタラプラシット氏は、欧州経済が貿易自由化なしに国内消費のみで景気回復を促進できる可能性はますます低下していると述べた。閉鎖的なグループを作ることがアジア地域主義ではないが、加盟諸国間で貿易のつながりが強化・確立された後で統合アジア経済に参入するには、かなりの困難が伴うだろう。

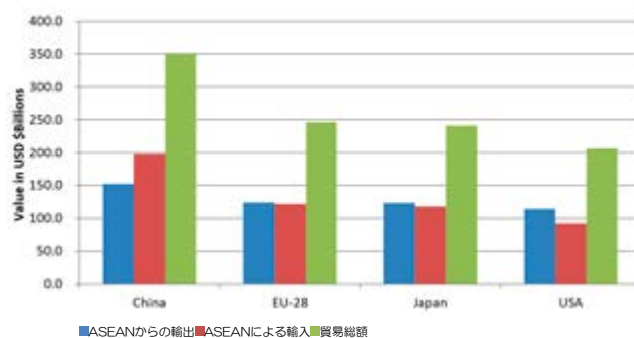
パタラプラシット氏によれば、アジア諸国とヨーロッパ諸国との間で現在進んでいる自由貿易協議すべてが速やかにまとまれば、EU内で創出される雇用は200万を超える見込みである。「欧州経済が、貿易自由化による押し上げなしに国内消費のみで景気回復を促進できる可能性は、ますます低下している」と彼は言う。

緊密な連携によるメリットは、停滞するEU経済の活性化だけではない。グローバル化が進む世界の厳しい状況を両経済圏が乗り越えてゆく上でも役立つ。リー・シェンロン シンガポール首相は、特にEU - ASEAN自由貿易

協定により、商品貿易のような従来の問題を超越、革新、サービス、公的調達等の21世紀型の課題に集中して取り組むことができるだろうと指摘する。「構造問題や金融危機からの景気回復等の課題はあるものの、ヨーロッパには多くのノウハウ、能力そして資源がある。それらは都市ソリューション、インフラ開発、資金調達などの分野で特に、アジアにとってかけがえないものとなるだろう」と彼は述べている。

AEMサミットには、アジアとヨーロッパから約53人の首相と国家首脳、ヨーロッパとアジア屈指のビジネスリーダーそれぞれ370人と440人以上が出席した。

The Nation Channel News Asiaより改編・編集。



出典：Asean.org 2013



## ウォール街（特集ビデオ）

小規模企業の苦境が雇用成長で相殺されたことが、D&B米国経済健全性レポートで明らかに

- 初めて自宅を購入する層に動きがなく、レンタル物件の空き状況が史上最低レベルとなったことを受け、小売りセクターは半年で最大の下落幅となる1.4%の低下を記録した。さらに建設業と不動産業でも低迷傾向が続き、小規模企業健全性指数は低下した。
- 自動車と金融サービスセクターの好調により、総合企業健全性指数は引き続き安定
- 独自指標に基づき、D&Bは、9月の新規雇用者数を208,000人と推計



視聴するには[こちら](#)をクリックしてください。

## D&B景況感指数

2014年第4四半期ASEAN地域D&B景況感指数が発表されました。四半期毎に発表されるこの指数は、実業界の景況感を図り、指数公表諸国における経済活動の転換期を示す主要指標です。

第4四半期景況感指数	インドネシア	フィリピン	タイ	ベトナム
販売高	▲	▼	▲	▲
純利益	▲	▼	▲	▲
販売価格	---	▼	▲	▲
新規注文	▲	▼	▲	▲
在庫レベル	---	▼	▼	▲
雇用	▲	▼	▲	▲

## マレーシア信用調査機関管理法

2010年にマレーシア信用調査機関管理法が施行され、本法に則り、D&B World-Wide NetworkのメンバーであるDun & Bradstreet (D&B) Malaysia Sdn Bhd (D&B Malaysia) は登録信用調査機関 (CRA) となりました。CRA法では、マレーシア国内外での信用調査報告書作成・提供に関するより厳格な新規則に従うことを、マレーシア国内の人々や企業を対象に信用調査を行う企業に義務付けています。マレーシアで業務を展開するすべてのCRAが、本法を順守しなければなりません。

新たな法規制は以下の通りです。

- 信用調査の各対象者に、調査元の身元を正式に通知しなければならない。つまり、D&Bのお客様は各照会に関する情報をD&Bマレーシアに提供する必要がある。
- 信用調査報告書を発表する前に、信用調査対象者の同意を得る必要がある。
- マレーシアの信用情報のデータベースは、マレーシアにて保管しなければならない。

2014年11月

## ASEAN産業界の主な動き



### カンボジア

- 9月29日 [電気製品への支出急増](#)
- 10月6日 [米の数値データに業界トップが失望](#)
- 10月9日 [観光ブームの只中で、高級市場が手招き](#)
- 10月17日 [カンボジア、セイシェルとの貿易関係強化へ](#)
- 10月22日 [数千人のスタッフが縫製工場に抗議](#)
- 10月24日 [衣料輸出鈍化も、2013年比では増加](#)



### インドネシア

- 9月30日 [短期間石炭輸出を削減する新規則](#)
- 10月1日 [インドネシア、ブラジルへの海藻輸出強化](#)
- 10月1日 [8月のインドネシアへの観光客数は7.24%増](#)
- 10月3日 [8月の鉱業輸出は9.4%増](#)
- 10月7日 [9月の自動車販売数は12%減の101,801台](#)
- 10月8日 [9月の錫輸出が急増](#)
- 10月8日 [2015年、マルチファイナンス業界の成長鈍化](#)
- 10月9日 [漁業・海運業セクターは引き続き成長](#)
- 10月10日 [インドネシア、下流石炭産業開発へ](#)
- 10月10日 [1~9月のセメント販売増加](#)
- 10月11日 [ブラジルの干ばつでコーヒー輸出急増](#)
- 10月13日 [異常気象でコーヒー生産減少](#)
- 10月14日 [インドネシアの建設市場潜在能力はアジア第4位](#)
- 10月18日 [原料糖輸入、引き続き抑制の見通し](#)
- 10月23日 [ベーカリー業界は輸入小麦に依存](#)



### ラオス

- 9月30日 [インターネット規制厳格国にランクイン](#)
- 10月6日 [経済成長は緩やかな見通し](#)
- 10月11日 [有機肥料企業、AECをターゲットに](#)
- 10月17日 [中国資本プロジェクトがラオス発展を後押し](#)
- 10月24日 [水力発電ダムに近隣から批判](#)



### マレーシア

- 9月29日 [ココア生産に明るい見通し](#)
- 10月1日 [マレーシア法人税段階的に引き下げ](#)
- 10月6日 [バイクメーカー大手、東南アジアで好調](#)
- 10月6日 [外国資本のさらなる流出の影響](#)
- 10月7日 [半導体世界販売、284億米ドルに急増](#)
- 10月8日 [大量売りが、石油・ガス企業株を直撃](#)
- 10月10日 [8月の工業生産高、予想を上回る](#)
- 10月11日 [米国政策が引き続き支配力発揮か](#)
- 10月13日 [免税措置延長でヤシ油強化へ](#)



10月15日 [GST、小売業者による新製品販売を推進へ](#)



10月15日 [インドネシア、タイとマレーシアのゴム価格設定を無視](#)



10月16日 [自動車販売13.1%減](#)



10月17日 [ASEANがマレーシア最大の貿易パートナー](#)



10月23日 [マレーシアには成功しているテクノロジー新興企業が実は多い](#)



10月24日 [医療企業支援を求める強い声](#)



### ミャンマー

- 10月6日 [マンダレーの漁場に汚水あふれる](#)
- 10月6日 [バイク輸入が加速](#)
- 10月13日 [貸付金利、2015年までに変動移行か](#)
- 10月20日 [ADB、地域農業活性化に注目](#)
- 10月23日 [売れ残り在庫増加で、米仲介業者が購入停止](#)



### フィリピン

- 9月26日 [複数のマレーシア銀行がフィリピン投資に注目](#)
- 9月29日 [稲価格、引き続き低下](#)
- 10月6日 [7月のインフラ支出は28%減](#)
- 10月6日 [輸出、8%成長を記録](#)
- 10月7日 [ムーディーズ:製造セクター、堅調な成長を維持](#)
- 10月9日 [再生可能エネルギー団体、さらに風力プロジェクトを承認](#)
- 10月9日 [不動産業界の成長加速に向けた統合](#)
- 10月13日 [政府の税「固定」で、鉱業界が苦境に](#)
- 10月13日 [フィリピン、東南アジア自動車市場で第2位の成長スピード](#)
- 10月13日 [BAS:コーヒー、カカオ生産が徐々に減少](#)
- 10月13日 [建設製品高騰、9月に一段落](#)
- 10月14日 [海運業者、地域主要港への航路オープン](#)
- 10月14日 [フィリピン産バナナ、ハワイとグアムへの参入準備完了](#)
- 10月15日 [電子機器輸出、目標達成に向け好調](#)
- 10月15日 [ココナッツ油価格低下](#)



### シンガポール

- 9月29日 [サイバー脅威急増でセキュリティサービス需要高まる](#)
- 10月7日 [Techcrackerロードショーで破壊的技術を発表](#)
- 10月9日 [ASEAN債券市場活況で、M&A増加](#)
- 10月9日 [ホリデーシーズン到来でサービスセクターのトラブル悪化](#)
- 10月10日 [スポーツ小売セクター、成長最盛期](#)
- 10月10日 [不動産総投資高、38.9%急落](#)
- 10月13日 [大規模スポーツイベントでテクノロジーの役割増大](#)

2014年11月

## ASEAN産業界の主な動き

- 10月13日 [国内小売業者が苦戦の中、グローバルブランド躍進](#)
- 10月13日 [トルコ・シンガポールFTA交渉進行](#)
- 10月14日 [建設セクターに5,500万シンガポールドルの生産性支援](#)
- 10月15日 [石炭価格低迷で、ノーブルのエネルギー部門10%減](#)
- 10月15日 [シンガポールの自動車販売、ほぼ倍増](#)
- 10月19日 [外国人労働者抑制がシンガポール経済に打撃も](#)
- 10月22日 [中小企業のほぼ半数に、信用不履行リスク](#)
- 10月24日 [生物医学生産、急落](#)

- 10月25日 [衣料メーカー、EU輸出に過敏](#)
- 10月25日 [ソフトローンでゴム業界強化へ](#)



### ベトナム

- 10月4日 [減税で輸入車急増](#)
- 10月4日 [ビール生産大幅増](#)
- 10月6日 [2014年の衣料輸出、250億米ドルに達する](#)
- 10月6日 [新ルートオープンで輸送プレッシャー緩和](#)
- 10月7日 [英国とベトナム、パートナーシップ対話を強化](#)
- 10月9日 [日本グループ、ベトナムでのチャンスを模索](#)
- 10月16日 [動物飼料輸入に約50億ドルを支出](#)
- 10月17日 [デンマーク、高品質のブタ飼育開発を支援](#)
- 10月18日 [韓国企業、バクニン企業の潜在性開拓](#)
- 10月20日 [国内産フルーツが国際市場へ参入](#)
- 10月20日 [カナダへの輸出が成長](#)
- 10月20日 [タバコ、アルコールの増税](#)
- 10月21日 [国内産農産物、フランスで展示](#)
- 10月22日 [オンラインゲームに特別減税](#)
- 10月23日 [イタリアからのベトナム投資総額3億100万ドル](#)



### タイ

- 10月6日 [米業界の全面改善へ](#)
- 10月8日 [中国産スチール輸入停止の声高まる](#)
- 10月9日 [海外の干ばつの恐れで、米の発注増加](#)
- 10月11日 [作業グループがアスベスト禁止推進](#)
- 10月13日 [エネルギー効率重視](#)
- 10月18日 [業界がゴム価格テコ入れへ](#)
- 10月20日 [LPG価格、22.63パーツの平価到達](#)
- 10月20日 [タイが資金調達ハブに](#)
- 10月21日 [自動車部品、2015年に海外から10%増を目指す](#)
- 10月22日 [9月の自動車生産減少](#)
- 10月22日 [廃棄物発電所さらに増加へ](#)
- 10月24日 [航空産業投資にインセンティブを求める動き](#)
- 10月25日 [Expoで食品輸送強化へ](#)

## 問合せ企業トップ5

インドネシア		フィリピン		シンガポール		ベトナム	
業界別/対象製品		業界別/対象製品		業界別/対象製品		業界別/対象製品	
	1.探査・生産		1.石油精製		1.卸売業		1.空輸
	2.探査・生産		2.空輸		2.金融、保険		2.テレビ放送
	3.石油化学		3.鋼片とスチール		3.卸売業		3.電気通信
	4.探査・生産		4.回路基板、テレビ		4.卸売業		4.石油・ガス
	5.探査・生産		5.アルコール飲料		5.卸売業		5.繊維製品毛糸と布

### アイコンの説明

経済 | 農業 | 石油・ガス | 自動車 | 食料品 | エネルギー | 運輸 | サービス | 製造 | 法律  
 海運 | 電子機器 | 金融 | 宇宙 | 電気通信 | 貿易 | 不動産 | 小売 | インフラ | 太陽エネルギー | 飲料  
 家畜 | 繊維製品 | 観光 | テクノロジー | 電気製品 | 海産 | 鉱業 | 放送 | 化学 | 航空

### 免責事項

本ニュースレターの情報は、一切の保証なしに、「元記事どおり」提供するものです。D&Bも情報提供者も、情報またはその使用に関して、いかなる形でも責任を負うものではありません。D&Bは、本ニュースレターまたはその掲載情報にリンクされたウェブサイト又はサービスに関して、何ら表明、保証または承認するものではありません。D&B以外のサイト、またはその掲載情報にアクセスするときは、お客様は当該サイトのコンテンツまたは情報にはD&Bの一切の支配が及ばないこと、また、お客様のシステムをウィルスやその他の破壊的性質を持つものから保護するのはお客様の責任であることをご了解の上、アクセスするものとします。